

経営協議会報

総務部総務課

平成18年6月26日（月）経営協議会

※議事に入る前に、学長から、4月1日付けで就任した学外委員（沖縄県副知事 嘉数昇明氏，琉球新報社取締役社長 比嘉辰博氏）の紹介が行われた。その後、各委員から自己紹介があった。

審議事項

（1）平成17年度決算について

岩政理事から、平成17年度決算について、資料に基づき説明があった。

審議の結果、原案どおり了承された。

なお、審議に当たって委員から主に次のような発言があった。

- ・ 議論を深めるため、事前の資料の説明や、内容を簡潔にまとめた資料の作成及び事前にゆとりある日程で資料を送付してほしい。
- ・ 診療報酬の引き下げにより病院の収入が17年度ほど見込めないのも、全体としての収支のバランスが重要になる。そこで、18年度は歳出の抑制について、見直すべきところは見直す必要があるのではないかと。また、学長裁量経費等を使用した外部資金・科研費獲得による研究の推進をさらに期待したい。
- ・ 研究成果をできるだけ民間と連携して産業界に還元して欲しい。
- ・ 人件費や病院収入の面で類似の大学との比較が分かれば、今後の努力目標の参考になるのではないかと。
- ・ 民間では経営コンサルタント等を利用し効率化を図っているが、大学でも外部の意見を聞くことにより、客観的に財政を把握することができるし、外部の者の意見を活用してはどうか。
- ・ 財政の健全化を図るためには、人的資源、財的資源、施設資源がある。収入を増やすためには、研究も教育も質を高めないといけない。他大学と比較し、どういう問題があるか洗い出す必要がある。
- ・ 琉球大学の外部資金導入の減少の原因はどこにあるのか。個々の教員の意識改革をしないといけない。大型プロジェクトをいかに獲得するか。文科省だけでなく他省庁への研究費申請も働きかける必要がある。
- ・ 琉球大学が沖縄県と地元 IT 関連企業と連携し、IT 技術者の育成、雇用の創出によって地元のニーズを踏まえ情報産業の活性化を図った取り組みをしていることが文科省から高い評価を受け、科学技術振興調整費が認められている。また、今後は ODA 予算を利用し、琉球大学が太平洋島嶼諸国からの留学生へ研究支援等を行い、存在感をアピールするとともに、長期的な友好関係を築く重要な役割を果たして欲しい。

(2) 平成17事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について

嘉数理事から、平成17事業年度に係わる「業務の実績」に関する報告書(案)概要について、資料に基づき説明があった。

審議の結果、原案どおり了承された。

なお、審議に当たって委員から主に次のような発言があった。

- ・全学教員人事委員会が実質は従来と何ら変わらないということのないように、本当の意味で改革が実現できるような制度にしていけないといけない。
- ・国立大学法人として効率化係数が1%かかり、人件費が削減されていく中で、現在の学部構成でいいのか検討する必要がある。また、教員組織を研究分野ごとにグルーピングする等、社会のニーズに合わせながら教育研究体制の再構築を図る必要があるのではないかと。教員の一元化や学部の在り方についても検討する必要がある。
- ・工業界が重視している JABEE 等、取れる資格はなるべく積極的に取れるカリキュラムに改正し、いい学生を育てて欲しい。
- ・指導教員の人的ネットワークを利用し、就職率の向上に取り組んで欲しい。
- ・年度計画に同じ内容のことを何回も記載しているが、再考が必要ではないか。
- ・研究者総覧は外部に向けても発信されているが、産学官連携のため企業向けに配付する冊子には本当に協力する意思のある先生のみを記載して欲しい。
- ・付加価値を付けて学生を送り出す大学として時代の変化に沿って、カリキュラムの精選と新しい発想の構築、シラバスの充実と授業評価について、大学としてどういうふうに取り組んでいくのか考える必要がある。
- ・学長裁量による定員の5人というのはどういう基準からなのか。戦略的コストを5%くらいに設定してはどうか。
- ・事務組織が法人化に対応し、機能しているか、検討して欲しい。
- ・例えば全学を人文系、理工系、医学系の3つくらいの学部にも再編するのはどうか。
- ・教員を学科にはりつけた定員ではなく、流動化を図ってはどうか。
- ・科研費を申請しない教員に対し研究費をカットするより、教員一人当たりの教育研究費の最低ラインの基準を設けたうえで、科研費等を申請した教員に対し、研究費を上積みにするなどの対応はどうか。
- ・総人件費のシュミレーションをすると議論がしやすいのではないかと。

報告事項

(1) 平成19年度概算要求について

岩政理事から、去る6月22日に文部科学省に提出した平成19年度概算要求に係る重点事項の概要について、資料に基づき報告があった。

(2) 琉球大学憲章の策定について

嘉数理事から、琉球大学憲章(試案)について資料に基づき報告があった。

来年5月の琉球大学開学記念日に発表したいと考えているので、意見があればお聞かせ願いたい旨依頼があった。

(3) 平成17年度監事監査意見書について

平監事から、平成17年度監事監査意見書について、資料に基づき報告があった。

学長から、内容を精査し、改めて報告したい旨説明があった。